

秋まき小麦 赤かび病防除 1回目は開花始めに！

止葉期は平年より2日早い5月27日で、草丈は平年並で、莖数は約750本程度です（作況ほ、6/1現在）。

6月4日頃から出穂が始まり、今週後半には防除適期を迎えるほ場も見られます。ほ場によって開花の時期がばらつく可能性があるため、生育状況をよく観察し、防除適期を逃さないようにしましょう。

☆赤かび病防除のポイント

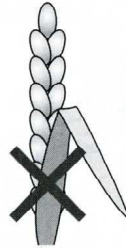
赤かび病は、開花時期が最も感染しやすい時期です。感染前の穂に薬剤を十分付着させ、保護することが重要です。

防除適期は「開花始め」。

降雨が予想される場合には、穂が出そろった時期に早めに防除を行きましょう。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょう。

十分に付着しない



開花始め



すでに感染している危険性あり



ニューカントリーより一部改変

☆赤かび病の防除体系例

| 防除時期 | 薬剤名 | 使用倍率 | 使用時期 | 回数 |
|---------|--------------|-----------|--------|------------|
| 開花始め | シルバキュアフロアブル | 2,000 | 収穫7日前 | 2 |
| | または リベロ水和剤 | | | 3 |
| 1回目の7日後 | ベフトップジンフロアブル | 800～1,000 | 収穫14日前 | 出穂期以降 1 |
| 2回目の7日後 | シルバキュアフロアブル | 2,000 | 収穫7日前 | 2 |
| | または リベロ水和剤 | | | 3 |

☆尿素の葉面散布

止葉期に窒素の分肥を行わなかったほ場や低タンパク傾向にあるほ場では、窒素資材の葉面散布を検討し、品質確保につなげましょう。

尿素2%溶液（水100Lに尿素2kgを溶かす）を1～3回

※ノズルがつまらないよう、尿素ははじめにバケツなどで溶かしましょう。

※「葉焼け」を防ぐため、夕方の涼しくなった時間帯に行いましょう。

○●適正管理で目指せ！ 1等Aランク10俵どり●○